

## ゴールボール

こんにちは！国際交流員のスティーブン・キャネルです。皆さん、ゴールボールご存じですか。恐らく知らない方もいるかもしれません。ゴールボールとは視覚障がい者のスポーツで、失明した人のリハビリテーションのために発明されました。ゴールボールは1976年以来、パラリンピック種目の一つになっています。

ゴールボールは国際大会では視覚障がい者しか参加できません。そうは言っても、視覚障がいの度合いが異なりますから、公平になるよう皆がアイシェードで目を隠さなければなりません。チームは6人以下となっています。試合は各チーム3人で対戦します。ゴールボールは野球のように攻撃側と守備側が分かれています。試合の中で入れ替わります。攻撃側はボールを守備側のゴールに入れようとします。ゴールボールのボールも特別ですよ。1.25kgの硬いゴム製ボールに鈴が入っています。選手は鈴の音によりボールとの距離を感じとります。試合時間は12分2セットで、引き分けの場合は3分2セットの延長戦になります。延長戦はゴールデンゴール<sup>1</sup>形式で行われます。コートは18m x 9mのバレーボールコートと同じサイズで、ゴールは高さ1.3m、幅が9mです。選手が自分のポジションをつかめるよう、コートに紐が入っています。



投球

世界トップの選手は時速約70kmでの投球をするため、言うまでもなく直球は止めづらいですが、相手のボールとの距離をわからなくするために、色々な駆け引きを行います。例えば、攻撃側の競技者が足音を鳴らしたり、あえてボールを跳ねさせたりします。

守備



<sup>1</sup> いわゆる「サドンデス」ですね。つまり、先に得点したチームの勝利です。

来年の東京 2020 大会に出場するチームはもう 10 チーム（男女それぞれ）のうち 6 チームが決まっています。その 6 チームの一つが今年 4 月にホストタウンである豊橋で合宿をしたリトアニアです。リトアニアはアメリカのフォートウェインで行われた選考大会で優勝したため、パラリンピックの出場権を手に入れました。2016 年リオデジャネイロパラリンピックで金メダルを獲得したリトアニアは現在世界ランキング 2 位です。エースのユスタス・パジャラウスカス選手も東京で 2 度目の金メダルを目指しています。



4月のリトアニア代表訪問

現在世界ランキング 1 位のブラジルの出場も決定しています。ブラジル代表は 2016 パラリンピックで銅メダルを獲得し、2014 年と 2018 年と続けて世界選手権大会を優勝しました。

豊橋のもう一つのホストタウン相手国のドイツも去年の選手権大会で銀メダルを獲得し、パラリンピック出場を勝ち取りました。ドイツ男子代表は再統一後の初の金メダルを目指しています。

女子では開催国の日本が強いです。アテネ大会で銅メダルを、それからロンドン 2012 大会で金メダルを獲得しました。男女ともに強いアメリカは現在女子代表が出場権を獲得しています。

皆さんも、オリンピックには同じ種目がないパラリンピックならではのゴールボールをぜひご覧ください。投球の速さ、強靱な守備、一回見ればたちまちゴールボールに夢中になると思います。